

2014年7月28日

生駒市長 山下 真 殿

L A S - E 判定委員会

委員長 寺西 俊一

副委員長 山本 武

委員 西 寿 雅也

委員 杉本 裕明

LAS-E判定結果について

1. 申請自治体

奈良県生駒市

2. 申請類型区分

第2ステージ・第2ステップ

3. 合否判定結果

L A S - E 判定委員会において、上記類型区分において規格に準拠しているかどうかを審議した結果、貴自治体の取り組みを次のように判定しました。

合格

なお、所見につきましては、別紙で通知いたします。

所見

全体的に、第2ステージ的な取り組みが浸透しつつあります。特に、組織の目標管理の重要性が指摘される中、環境基本計画を部の仕事目標に位置づけ、生駒市総合計画や行政改革と同じレベルで全庁的に取り組むしくみを整備したことは、評価できます。今後は実際にどれだけ仕事を環境配慮型に変えられるか、監査でその効果を把握していくと良いと思います。

一方、エコネットいこまだけをパートナーシップの相手としているところが若干気になります。第3ステージをにらみ、もっとウイングを広げていくことが期待されます。また、市民と一体となったプロジェクトの推進を中心に据えていることは生駒市環境基本計画の特徴となっていますが、市が主体で行う施策の数値目標も掲げるべきではないかと考えます。

また、生駒市の地域特性もあると思いますが、第2ステージの数値目標として緑化や森林など、自然環境に関するものが少ないように感じます。また、庁内横断的な取り組みや、目標達成が難しそうな項目がはいっていないように感ぜられます。

今後は環境モデル都市の称号にふさわしい、モデル都市づくりに寄与するよう、網羅的かつ重点的な取り組みを期待します。